



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2014年1月8日

報道関係各位

## 「山のがっこう」 みずからまなぶ、みらいへつなぐ～サイエンスフィールド白旗山～ 第三弾！ 「美味しい水ができるまで」開催

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市清田区 代表取締役社長:矢吹健次)は、2014年1月11日(土)に、北海道大学大学院環境科学院と協働して、小学生親子を対象とした環境教育事業『「山のがっこう」』の第三回目となるイベント「美味しい水ができるまで」を開催致します。

### 第三弾イベント企画「美味しい水ができるまで」概要

今回のイベント企画は「美味しい水ができるまで」というテーマのもと、環境科学院の中を探検する形式で参加者自身が自然界における水の循環を伝えるゲームや、蒸留やパックテストを用いた水質検査などを行います。

白旗山を中心とした自然環境の中で水が循環され、その過程でどのような変化が発生しているのかを知る事から、小学生親子の環境保全に対する意識向上を促します。



自然界の水の循環の旅路を、自ら体験



(手作り蒸留装置：環境科学院の学生作成)

【開催要項】

「山のがっこう」 みずからまなぶ、みらいへつなぐ～サイエンスフィールド白旗山  
三回目イベント「美味しい水ができるまで」

日 時 : 平成 26 年 1 月 11 日 ( 土 ) 13 : 00 ~ 16 : 00

場 所 : 北海道大学大学院 環境科学院 大教室 ( D-201 )  
( 札幌市北区北 10 条西 5 丁目 )

内 容 : 水の循環体験ゲームや、蒸留やパックテストを用いた水質検査実験

参加費 : 1 名につき 300 円 ( 見学者は無料 )

報道関係の皆さまのご取材・ご掲載により、本事業が生活者の皆さまに周知され、産・学・官・民が共に子どもたちの健やかな成長を応援する機運が高まることが期待されます。

ご多忙の折かとは存じますが、何卒ご取材の程、宜しくお願いいたします。

当社は、北海道の皆さまに支えられ、2013年1月で創業50周年を迎えました。これからも地域のお役に立てる企業を目指して、安全・安心に係る応援事業、環境保全事業、未来を担う子どもたちを育む事業などを、継続して推進してまいります。

---

< 本件に関するお問い合わせ先 >  
北海道コカ・コーラボトリング株式会社  
広報・CSR推進部 担当: 宇井  
TEL 011-888-2091

【参考】

「山のがっこう」とは

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(以下、当社)は、北海道大学大学院環境科学院(以下、環境科学院)と、北海道における環境保全・地域社会の発展に寄与することを目的として連携・協力協定(以下、同協定)を2013年7月29日に締結しており、同協定に基づく活動を継続することで、当社事業活動の継続に重要な位置付けである水源の札幌市清田区白旗山をはじめとする北海道の自然を、教育・研究や人的交流・情報交流によって保全し、次世代へつなげていきます。

同協定にもとづく具体的な活動として、「山のがっこう」を同年8月に開校しました。この「山のがっこう」は当社創立50周年を記念して実施するもので、水源である白旗山をフィールドとして、水を育む森の大切さを地域の人に伝える、イベントを中心としたコンテンツを実施しております。

環境科学院と連携することで、伝える側と伝えられる側双方向の教育の一環につなげ、イベントの検討にあたってはまちづくりパートナー協定を結ぶ札幌市や、白旗山を地元とする清田区、並びに清田小学校など「産・学・官・民」の協働を実現しています。



写真左：北海道大学大学院環境科学院 嶋津学院長、北海道コカ・コーラボトリング(株) 矢吹社長

写真右：根岸准教授と環境科学院の学生

## 「山のがっこう～みずからまなぶ、みらいへつなぐ～サイエンスフィールド白旗山」活動実績

### 【「山のがっこう」プレ開校の様子】

今年の「山のがっこう」開講に先立ち、昨年 11 月に白旗山ふれあいの森のふれあいセンターでプレ開校いたしました。

清田小学校をはじめとする子どもたち約 15 名が参加し、水の飲み比べや、水の硬度について学びました。



レゴで作られた地中と地表を再現した模型にじょうろで水をかけ、白旗山に降った雨水が川となって流れていくものと、時間をかけて地中にしみこんでいくものに分かれること、そして水が土の中にしみこんでいくために、森の木はどうして大切なのかを学びました。



### 【第一回目イベント「行って見て聞いてみナイト！」】

2013 年 8 月、白旗山ふれあいセンターにて清田小学校をはじめとする親子約 30 名が参加し、昼と夜の森の違いを五感で感じるイベントを実施。

水の湧くポイントや川などで水の温度を測り、  
どうして場所によって温度が違うのか？

という疑問を解決したり、昼の森ではどんな虫がいるのかを学びました。



昼に学んだ事を、夜の森で再び行くと、色々な違いがある事を学びました。また、コウモリ探知機を使ってコウモリを探す実験も行いました。



夜の森にワクワクする子ども達



子ども達を感じた疑問を学術的に解明  
(環境科学院 根岸准教授)

### 【第二回目イベント「森の身体測定」】

2013年9月、白旗山有明地区にて子ども達約40名が参加し、植樹体験を交えた植樹の必要性、山の水源涵養機能に対する知識を深めるイベントを実施。

当社別事業の「森に学ぼうプロジェクト わくわく体験ランド in 白旗山」との共同開催となり、参加者40名に加えて、当社社員、環境科学院の先生や学生、札幌ふれあいの森友の会さまを含めると総勢約80名のイベントとなりました。



「森の身体測定」というテーマ通り、植樹活動を行った場所と、その近くの森の木々の高さや太さ、樹冠幅などを測定し、そのデータを基に3Dで再現された森を見ながら広葉樹と針葉樹の違いを観察しました。また、広葉樹の森には腐葉土や動物の影響から地面が柔らかくなり、水の浸透能が高まる事から、水源涵養機能を高める役割がある事も学びました



## 【ご参考】

### 「さっぽろまちづくりパートナー協定」

札幌市では市民自治の推進を図るために、幅広い政策分野や事業について、ともにまちづくりを担っていくことを合意できた企業と、包括的な連携協定(名称 さっぽろまちづくりパートナー協定)を締結しています。

(締結日 2009年1月8日)

札幌市と当社は以下の4分野を連携の柱とした協定を締結しました。

- (1) 未来を担う子ども達が健やかに育つまちづくり
- (2) 安心・安全で誰もが健康に暮らせる、人と環境にやさしいまちづくり
- (3) 観光・文化・スポーツの振興を通じた、都市の魅力が輝くまちづくり
- (4) 地域の連携・協働を進めるまちづくり

(同協定に基づいた取り組み)

次世代教育の場として札幌市円山動物園内に「nature café EARTH(ネイチャーカフェ アース)」をオープンし、来園者の休憩を楽しんでもらうほか、環境の大切さを感じていただく場として運営。

010年5月より、「YOSAKOIソーラン祭り」を応援するために、「YOSAKOIソーラン祭り コカ・コーラ応援 デザイン缶」を発売し、売上げの一部を継続的に「YOSAKOIソーラン祭り組織委員会」に寄付。

2010年9月に、札幌市円山動物園において取り組んでいる「野生動物復元プロジェクト」を応援し、「猛禽類野生復帰施設」の建築費用の一助として1000万円を同プロジェクトに寄付。

2011年6月に、札幌市清田区にある白旗山の森づくりを応援するとともに、円山動物園におけるさらなる環境啓発の展開・充実を目指し、「環境事業に関する協定」を締結。

### 「環境事業に関する協定」の取組み

白旗山の26.49ha(札幌ドーム5個分)の面積で札幌市森林組合や市民団体などと連携した森づくり(植樹・間伐)などを展開しています。



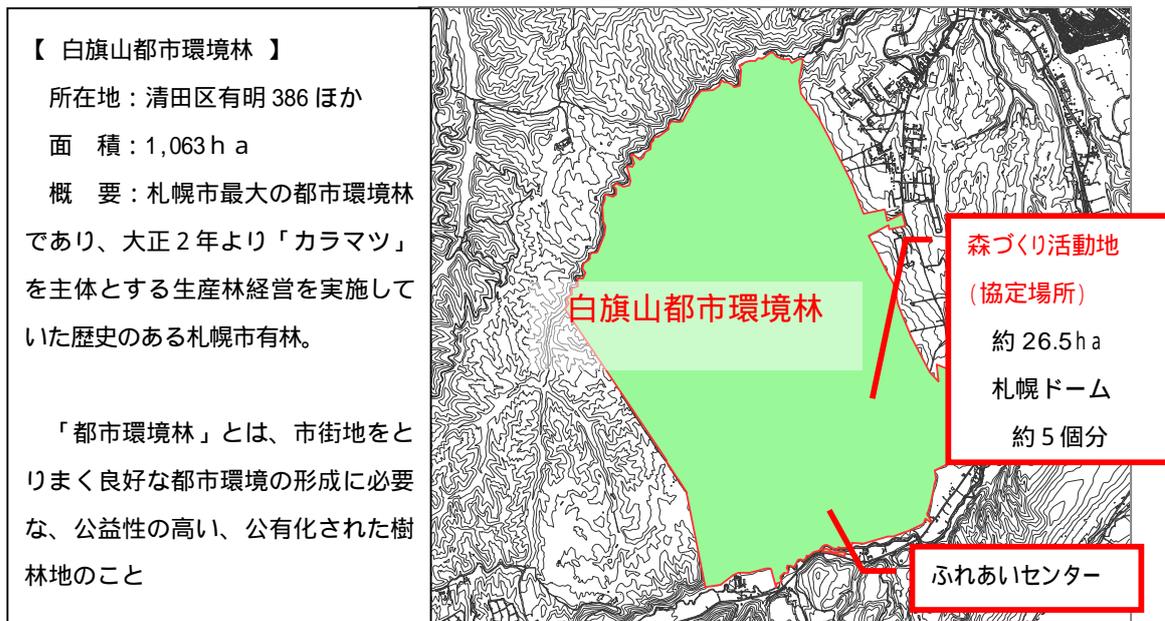
### 【白旗山の森づくり事業概要】

場 所：白旗山都市環境林内(清田区有明195ほか)

協定面積：26.49ha(札幌ドーム約5個分)

協定期間：H23～H32（当初10年間）

活動概要：札幌市森林組合や市民団体などと連携した森づくりを展開するほか、50年レベルでの長期にわたる森づくり活動を予定。



至 滝野すずらん公園

### コカ・コーラシステムの水への取組

コカ・コーラシステムでは、「2020年までに持続的な水質資源管理のグローバルリーダーになる」という世界共通の目標を掲げ、製造過程における水使用量を削減すること(Reduce)、製造過程で使用した水を適切に処理し自然環境に戻すこと(Recycle)、水源涵養で水資源を“補充”すること(Replenish)の3つの要素からなる水資源保護プロジェクト「ウォーター・ステewardシップ(Water Stewardship)」を推進しています。

